

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

| | |
|---|--|
| (宛 先) 京 都 府 知 事 | 令和2年 7月10日 |
| 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都港区浜松町2-4-1 | 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 一般社団法人 日本血液製剤機構 理事長 石川 隆英 |

| | |
|--|--|
| 環境マネジメントシステムの名称 | ISO14001:2015 |
| 適用範囲 | 一般社団法人 日本血液製剤機構 京都工場 |
| 導入年月日 | 2000年 10月 23日 |
| 認証番号 | 18ER・984 |
| 基本方針 | 環境マネジメントシステムを構築し、その活動の継続的改善に取り組む。重点項目を定めてマネジメントシステムに従い、目標を設定して改善に努め、定期的に見直す |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | ①省エネルギーの推進 ②廃棄物の減量 ③環境保護及びリサイクルの推進 ④血液製剤の安定供給と国内自給の達成 |
| 目標を達成するための取組の内容 | ①ポンプ、ファン、エアコンプレッサーのインバータ化 ②圧空設備の連結及びエアコンプレッサーの台数制御 ③老朽化設備の省エネ更新 ④各部署の作業に密着したエネルギー又は廃棄物の削減 ⑤環境提案による環境改善 |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | ①～②：実施済 ③～⑤：順調に進捗中 |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | 当初計画に基づき、毎年見直しを行いながら取組みを進めている |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | 関連法規の遵守状況等について、年1回以上環境委員会にて評価を実施している。 これまで違反及び行政当局から指摘はなかった。 |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | 毎年、定期的に事業所長によるマネジメントレビューを実施している。 前年度において、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られることから今年度も同一システムにより運用する。 |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。